

1. 評価結果概要表

作成日平成20年10月14日

【評価実施概要】

事業所番号	3770400244
法人名	医療法人社団 功寿会
事業所名	グループホームクレパス
所在地	香川県善通寺市原田町1565番地3 (電話)0877-63-9080

評価機関名	社会福祉法人香川県社会福祉協議会		
所在地	香川県高松市番町一丁目10番35号		
訪問調査日	平成20年9月5日	評価決定日	平成20年10月14日

【情報提供票より】(20年8月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 12年8月1日
ユニット数	2ユニット 利用定員数計 18人
職員数	18人 常勤 12人、非常勤 6人、常勤換算 14.15人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨造り 2階建ての1階 ~ 2階部分
------	------------------------

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	31,500円	その他の経費(月額)	15,750円+実費	
敷金	有()円		無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有()円	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	300円	昼食	600円
	夕食	600円	おやつ	105円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要(9月1日現在)

利用者人数	17名	男性	2名	女性	15名
要介護1	7名	要介護2	2名		
要介護3	6名	要介護4	2名		
要介護5	0名	要支援2	0名		
年齢	平均 88.3歳	最低	78歳	最高	96歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	岡部医院 県立丸亀病院 末森歯科医院
---------	--------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

管理者の熱い思いで創設されたこのグループホームは、管理者の理念、方針が明確で職員もそれを充分熟知して、利用者一人ひとりの立場に立ってその方本位のきめ細かい配慮をしたケアを実践している。一人ひとりの出番を大切にしており、司会をする人、調理をする人、洗濯をする人などと利用者自身が和やかな雰囲気の中で生活をされている様子がうかがえた。医療面での相談や緊急時の対応は、母体である医療機関が隣接されており、利用者や家族などの安心につながっている。いつも利用者、家族など、職員の笑い声、家庭生活と同じような当たり前の生活を目標に、管理者と職員の頑張りひしひしと伝わるホームであり、今後さらなる活躍を期待したい。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回評価で改善課題はないが、管理者と職員は丸丸と常態に課題を見つけて、前向きに取り組んでいる。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>全職員で自己評価をして自己課題を出し、管理者と職員が話し合っ改善策を見出すなど、サービスの質の向上に前向きに取り組んでいる。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議では、ホームの現状や外部評価への取り組みや報告、困難事例の検討などを行い、参加者からは活発な意見交換がなされ双方向的な会議となっている。出された意見や要望などは、職員は共有して運営に反映させている。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>家族などの来訪時には、苦情や意見、不安に思っていることなどを出しやすい雰囲気づくりに努めている。また定期的にお便りを出す時にも家族などが書きやすい用紙を同封している。出された苦情や意見、希望などは職員は共有して、職員会議で検討し運営に反映させている。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>日頃の挨拶などで親しくなった方の畑で野菜などを収穫させて貰ったり、地域の行事には努めて参加をしたり、いろいろなボランティアの訪問も受けている。また、職員は地域で開催される「ケアケア講座」に講師として参加をして、地域住民の認知症の理解が深まるよう努めるなど、地域とは非常に良い交流が保たれている。</p>

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
		○地域密着型サービスとしての理念			
1	1	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	その人らしく一人ひとりの思いや尊厳を大切に、住み慣れた地域で暮らしていく理念を利用者と一緒につくりあげている。		
		○理念の共有と日々の取り組み			
2	2	管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は、朝礼の時に利用者と一緒に理念を復唱している。また、職員は理念を名札の裏に記載して共有し、日々のケアに活かすよう取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
		○地域とのつきあい			
3	5	事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に加入しており地域住民の一人として、陶芸教室で作品を作り展示したり、夏祭りや善通寺フェスタなど地域活動に参加をして地域の人々と交流することに努めている。地域の方も園芸やボランティア活動で事業所に来られ、良い交流が保たれている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
		○評価の意義の理解と活用			
4	7	運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者、職員は、評価の意義やねらいについて理解しており、自己評価は全職員で取り組んでいる。見いだされた課題については具体的改善策を考えて、サービスの質の向上に取り組んでいる。		
		○運営推進会議を活かした取り組み			
5	8	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、ホームの現状や評価への取り組み、困難事例の検討や地域資源の活用などについて意見交換がなされ、双方向的な会議となっており運営に反映させている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	同系列老人施設で「高齢者問題を考える会」をもち、市長、市の部長、地区社協、職員などが参加をして、地域の介護力が高まるよう取り組んだり、職員が出前講座に講師として参加するなど、市町村と共にサービスの向上に努めている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族などの来訪時には、声をかけて利用者の日頃の暮らしぶりや健康状態などを報告している。また、定期的に利用者の写真を添えて、家族などが知りたいことなどを考慮しながら個別に細かい手紙で報告をしている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族などの来訪時には、意見や不満、苦情などが表せるよう環境や雰囲気づくりに配慮している。意見箱の設置や外部に表せる機関も紹介している。出された意見や不満、苦情については、管理者、職員は共有して運営に反映させている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	管理者は、利用者や職員の馴染みの関係を保つことを重要視して、事業所間の異動は行わない。新人採用の時は、馴染みの職員が上手くカバーをしながら利用者へのダメージを防ぐ配慮がなされている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	管理者は、職員の段階に応じた育成のため県外研修を主に計画を立てて、研修参加の機会を確保している。また、職員は研修参加後事業所内で報告をするなど、日常的に学ぶことを推進している。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者は、職員が県外や地域の同業者と交流する機会を持ち、職員は、相互評価や情報交換などを行い、同業者同士協働しながらサービスの質の向上に取り組んでいる。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	事業所に遊びに来て貰ったり、職員が訪問をして本人や家族などが不安に思っていることや意向を大切に環境設定をし、体験入居をして職員と馴染みの関係になってから入居していただくなど工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は、年長者である利用者からおくどさん利用のご飯の炊き方、煮物やばら寿司の味付け、雛飾りの飾り方、昔からの慣わしについてなど教えて貰い、感謝の言葉を伝えるなど支えあって暮らしている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の関わりの中でさりげなく声かけをして、言葉や表情から把握するよう努めている。困難な場合はセンター方式を取り入れたり、職員間でロールプレーをして実践で分かる時もあり、本人本位に検討している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護計画作成時には、利用者や家族などから意見や意向を聞いたり、参加できない家族などには書面に記述していただくようにしている。出来る出来ないシートも利用して、関係者の意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	月に一回現時点での利用者や家族などの状況やニーズ、サービスの状況などの評価と、3か月に一回見直しを行っている。見直し以前に変化が生じた場合は、利用者や家族などと話し合い柔軟に新しい計画を作成している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	入居される時に混乱が生じる可能性がある方には、家族などと相談をしながら体験入居をしていただいたり、車椅子などで通院される方には、リフト車で送迎している。また、一人ひとりの特別な外出支援も行っている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者や家族などの意向を大切に、それぞれのかかりつけ医とはいつでも相談や受診ができる体制を築き、適切な医療を受けられるよう支援している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居された早期に重度化した場合や終末期のあり方について「看取り介護についての同意書」をいただいている。重度化した場合は、その都度かかりつけ医との連絡を密にして、関係者全員で方針を共有している。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	当事業所独自の倫理綱領を作成して、一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応はしていない。記録などの個人情報の取り扱いも徹底している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な一日の流れはもっているが、一人ひとりの体調や思いを大切にその人に合わせた支援をしている。また、利用者は、生活(役割)実行表を記載する方もおられる。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しみなものになるよう、利用者の好みや希望を、定期的に開かれる利用者本位の献立会議で取り入れている。食事の準備や後片付けなどは利用者の力を活かし役割分担をしている。食事は利用者職員全員と一緒に和やかな雰囲気ですべている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一人ひとりの習慣や希望に合わせて入浴が楽しめるよう、職員のローテーションに工夫がなされている。希望により小規模多機能施設の檜風呂や、温泉に出かけたりと好みの入浴ができるよう支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	職員は、一人ひとりの生活歴を把握して、日常生活の中でその人の得意とする分野で力を発揮して貰ったり、できそうな楽しみごとや役割を見つけるよう努めている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	本人の体調や希望にあわせて毎日一回は散歩や買物に出かけ、近隣の方々と挨拶を交わしたり、季節の移ろいを感じていただいている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	管理者および職員は、日中鍵をかけることの弊害を理解しており、入居者が不穏にならないよう環境を整えたり、職員同士の連絡を密にして気配り、目配りで鍵をかけないケアを実践している。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害対策マニュアルを作成して、定期的に入居者と一緒に非難訓練を行っている。運営推進会議で災害対策が検討されて、自治会自衛防衛会議に参加することになり、今後は、地域と協力体制が整えられる。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立は利用者の希望を取り入れつつ、栄養バランスなどを考慮して管理栄養士が確認している。職員は、一人ひとりのおよその栄養や水分摂取量を把握して共有し、利用者に関わっている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の空間は、喫煙やお茶ができる中庭から自然光が取り入れられたり、利用者による季節の花が生けられたり、また、家庭的な家具や調度品が配され、落ちついて居心地よく過ごせる雰囲気が感じられる。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者が家庭で使用していた馴染みのある家具やテレビなどが持ち込まれたり、手作りの作品や家族の写真などを飾り、その人らしく安心して落ちつける空間となっている。また、利用者が自筆で目標を書いており、職員だけでなく訪室された方にも思いや意向が伝わる工夫がされている。		